

即位に想う Ⅲ

庄司木材(株)

庄司 良雄

令和元年10月22日 即位礼正殿の儀が執り行われるために祝日となる。国内外に即位を宣言するため各国元首・要人の方が参列、そのため空港周辺及び都内は厳重体制の下、21日から25日まで交通規制が敷かれる。21日も理由はわからないが、新木場周辺も渋滞。21日を休めば4連休になり、22日は大雨の予想からディズニーランド渋滞とか高速道路が使えないからとか情報も錯綜している。

それに先立ち10月18日500円記念硬貨が発売された。初日は1人2枚1,000円までとの事。並んで目の前で規定の枚数が無くなった為購入できなかったとか、デザインがすばらしいとか、令和という新しい元号の初めての硬貨なので記念になるという事で評判になっている。

私もそのような情報を知らなかったので21日月曜日に新木場の郵便局に行ってみると先週で既に完売との事。豊洲のみずほ銀行には完売しましたと看板も出ている。頼みのみずほ銀行深川支店に駄目もとで電話してみると「ございます」との事。やったー！

表に高御座(たかみくら)と裏は天皇家の家紋の菊花の紋章と梓(あずさ)とハマナスだそう。梓とハマナスは天皇皇后両陛下のお印(おしるし)でそれをあしらっている。

お印とは、皇族が身の回りの品に用いる徽章でシンボルマークのようだ。



左側 裏 右側 表

ちなみに 皇族の皆様のお印は

上皇	榮
上皇后	白樺
天皇	梓
皇后	ハマナス
愛子	ゴヨウツツジ
秋篠宮皇嗣	榊
紀子	檜扇菖蒲(ひおうぎあやめ)
眞子	木香茨(もっこうばら)
佳子	ゆうな
悠仁	高野槇

となっている

梓は、木偏にからい、つらいという字で構成されている。

梓は、ヨグソミネバリとキササゲとの別称となっている。葉の先端が尖った樹木 固くて両質な木 美しくのびのびとまっすぐで大きく強さとしなやかさを持ち、人名に使うときは困難にも負けない人と期待が込められていると紹介されている。用途は弓とか版木の材料として使われている。上皇、上皇后がどのようなお気持ちで選んだかわからないが、まさに天皇陛下を象徴していると思う。

木偏につらい。つらいという言葉を知ると、私は、映画「男は つらいよ」を思い出します。皆様も一度は見たことがあると思います。「生まれも育ちも葛飾柴又 帝釈天の産湯につかり 姓は轟(くるま) 名は寅次郎 人呼んで フーテンの寅と申します」というあの寅さんの映画です。

シリーズも47作まで続き、お正月といえば寅さんではなかったでしょうか？何が辛いのか？と思いますが、風の吹くまま気の向くまま全国に旅に出、いろいろな方と出会い、また絶世の美女と恋をする、恋に落ちる、でも成就はしない。故郷に帰ってくるが、一騒動起こして、また旅に出るの繰り返し、話していると面白いけど、経済力は無い、将来性はない、定職に就けないという事で結婚には結びつかない。

たとえ惚れられても、相手の幸せを考え身を引いてしまう等いろいろ考えますが、笑いあり涙あり最後は、ほのぼのとした気持ちになります。

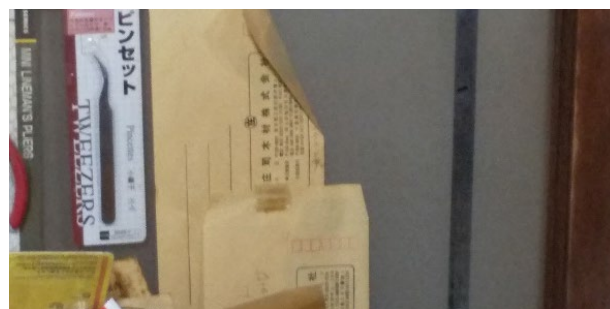


さて、ここは寅さん記念館です。そしてタコ社長の印刷所。朝日印刷所です。唯一映画のロケ地 柴又にはない、架空の工場です。

一寸したご縁で、ご協力致しました。



下の写真は、上の写真を左側及び右側をズームアップした写真



皆様も見学に行ったときは注目してください。
仕事は 辛いっす。

即位に想う (番外編)

テレビにご学友という事で同級生が出演している。

「懐かしいなあ でも老けたなあ」とつぶやく。すかさず 周りの知人が「おっさんやん」

「テレビだと老けて見えるんだよなあ」

「俺のほうが若いよなあ」と言うと また「一緒じゃん」とか 「同類 同類」とか 「鏡と相談しろ」とか言いたい放題。

先輩で 還暦を過ぎて 一番ショックだったのが シルバーシート(優先席)の前に立っていたら席を譲られた事だそう。

後日 電車に乗って 優先席の前に立ってみる。ドキドキ そわそわ。

誰も席を譲ってくれない。内心「勝ったー」と思う。

小さな幸せを感じる。